

ご案内

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。
当センターの研修につきまして下記のとおりご案内申し上げますので、受講者の派遣方
につきまして格別のご高配を賜りたくお願い申し上げます。

令和4年度研修

建築 R C 構造

〈隔年実施〉

共催 一般財団法人 全国建設研修センター
一般社団法人 公共建築協会
後援 国 土 交 通 省
全国知事会・全国市長会・全国町村会

住宅・建築物に対して、頻発する地震やさまざまな自然災害に対する安全性確保のため、建築基準法や建築物耐震促進法等の改正などにより建築物の安全性が確保されてきている状況にあります。

本研修は、実務経験の浅い方を対象に、鉄筋コンクリート造(RC造)建築物の建築構造設計基準、鉄筋コンクリート構造計算規準に精通した講師陣による構造計算演習を中心に、理論なども分かり易く解説いたします。

特に演習では、モデル建築物の構造計算を講師の解説により、実際にご自身で計算をしていただきますので、鉄筋コンクリート造の設計・施工に携わる方々にとって大変有意義な研修となっております。

また、全国の実務担当者との交流を図る貴重な機会として好評を得ています。

皆様のご参加をお待ちしております。

【受講された方々の声】

- ・実際に手計算にて構造計算を行うことで流れを確認できたと思います。講師の方が複数おり、質問がしやすい体制も良かったと思います。
- ・業務の中だけでは理解することが難しいため、5日間の中で1から構造について学べることは非常に有意義だと思います。
- ・設計の実務の観点から、構造計算をする上でのポイントやこういった所に気をつけたら良いかが分かり、とても参考になりました。

【研修期間】 令和4年9月12日(月)～9月16日(金) 5日間

【研修場所】 一般財団法人 全国建設研修センター 研修会館
〒187-8540 東京都小平市喜平町2-1-2
TEL 042-324-5315 <https://www.jctc.jp/>
当センターホームページよりインターネットで研修の申込みができます。

【メール配信】 メール配信サービス「建設研修のお知らせ」は、あらかじめご登録いただいた方に、募集中のコースなどの情報を随時お知らせするサービスです。
なお、この場合は、すべての研修について配信されます。
ご希望の方は、下記URLまたはQRコードをよりお申し込みください。
<https://www.jctc.jp/training/mail-service>



※受講経費の助成制度がある道県(政令市を除いた市町村職員の受講が対象となります。)

北海道・青森・岩手・栃木・群馬・神奈川・新潟・富山・山梨・岐阜・静岡・奈良・和歌山・岡山・山口・徳島・高知・大分・宮崎の19道県。
詳細は、各道県市町村振興協会・こうち人づくり広域連合にお問い合わせください。

令和4年度研修 建築RC構造 時間割

講義日時	講義時間	教科目	講師				
9/12 (月)	8:30 ~ 9:00	受付 オリエンテーション・開講式					
	9:00 ~ 9:30						
	9:30 ~ 10:30	1.0h		官庁営繕における構造関係基準の体系	国土交通省 大臣官房 官庁営繕部 整備課 特別整備室課長補佐	小川 良典	
	10:40 ~ 15:00 昼休憩 12:30-13:30	3.5h		構造力学	東京都立大学 都市環境学部 建築学科 准教授	高木 次郎	
15:10 ~ 17:30	2.5h	構造計画	株式会社日建設 エンジニアリング部門 構造設計グループ ディレクター	小坂橋 裕一			
9/13 (火)	9:00 ~ 11:00	2.0h	仕様と設計実務における留意点	株式会社日建設 エンジニアリング部門 構造設計グループ ディレクター	貞許 美和		
	11:10 ~ 17:30 昼休憩 12:10-13:00	5.5h	(演習内容)	一般社団法人 公共建築協会			
			構造計算演習のオリエンテーション			教務専門委員	清水 豊和 <small>株式会社 和島商業都市研究所 顧問</small>
			・ 一般事項 ・ 準備計算(荷重設定、部材剛性の算出、CMQの算出など) ・ 二次部材の設計(スラブ、小梁の検討)			教務専門委員	森 和久 <small>飛鳥建設 株式会社 建築本部 建築設計部 構造設計 部長</small>
9:00 ~ 17:30 昼休憩 12:00-13:00	7.5h	演習・解説	応力計算	教務専門委員	大澤 健 <small>飛鳥建設 株式会社 建築本部 建築設計部 第2構造設計 主任</small>		
9:00 ~ 17:30 昼休憩 12:00-13:00	7.5h	主架構の部材断面算定	・ 応力計算結果を元に部材断面を設計 ・ 基礎の設計(杭、地中梁の検討)	一般社団法人 公共建築協会	教務専門委員	清水 豊和 <small>株式会社 和島商業都市研究所 顧問</small>	
9/15 (木)	9:00 ~ 17:30 昼休憩 12:00-13:00	7.5h	保有水平耐力の計算の概要	教務専門委員	堀之内 亮 <small>飛鳥建設 株式会社 建築本部 建築設計部 第2構造設計 課長</small>		
			・ 部材の曲げ終局強度(MU)の計算 ・ 骨組みのメカニズム時の耐力算定				
9/16 (金)	9:00 ~ 15:00 昼休憩 12:00-13:00	5.0h	・ 骨組みのメカニズム時の耐力算定(残り) ・ せん断設計(耐震壁の設計) ・ 部材の種別判定と集計 ・ Ds値の計算	教務専門委員	長谷川 博 <small>飛鳥建設 株式会社 建築本部 建築設計部 第1構造設計 主任</small>		
	15:00 ~ 15:15	閉講式					

※教科目及び講師については変更することがあります。

【参考】 令和4年の演習で構造計算する建物の概要

- | | |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 建築場所 東京23区内(地表面粗度区分Ⅲ) ・ 用途 事務所 ・ 構造種別 RC造(耐震壁付ラーメン構造) ・ 階数 地上2階、地下なし ・ 最高高さ 7.9m | <ul style="list-style-type: none"> ・ 軒高 7.3m ・ 延床面積 1F:252㎡、2F:252㎡、合計504㎡ ・ 地盤 第2種地盤 ・ 基礎形式 既製コンクリート杭基礎 ・ 塔状比 7.3/14=0.521<4.0 ※塔状比=高さ÷見付幅 |
|--|---|

